

Cisco TelePresence 3200

Cisco TelePresence は、離れた場所にいる人々との対話やコラボレーションをこれまでにない形で実現する画期的なテクノロジーです。

実物大の高精細度ビデオ、高性能オーディオ、およびきめ細かく調整された環境を一体化した Cisco TelePresence では、ネットワークを介して直接対面しているような感覚が得られます。遠隔地の参加者も自分と同じ会議室にいるように思わせる、このテクノロジーと設計の強力な組み合わせは、ビジネスを変革させる可能性を秘めています。Cisco TelePresence はすでに多くの組織に採用されており、意思決定時間の短縮、顧客との親密度の向上、異文化コミュニケーションの改善、少ないリソースの有効活用、製品市場投入までの時間の短縮といった効果を挙げています。

Cisco TelePresence は、次のようにさまざまなエンドポイント モデルから構成されており、多様な会議のニーズに応えます。

- Cisco TelePresence 500 は、個人オフィスで 1 ～ 2 名で使用するよう設計されています。
- Cisco TelePresence 1000 は、少人数のグループ会議や一対一の会話に適しています。
- Cisco TelePresence 3000 は、ビジネス会議に適しており、1 室あたりの参加者は最大 6 名です。
- Cisco TelePresence 3200 は、大規模なグループ会議に適しており、1 室あたりの参加者は最大 18 名です。

これらのエンドポイントは、Cisco TelePresence Manager ソフトウェアと組み合わせることで会議のスケジュールリングや設定が容易になります。また、Cisco TelePresence Multipoint Switch と組み合わせればマルチポイント会議が可能です。

このデータ シートでは、Cisco TelePresence 3200 について説明します（図 1）。

図 1 Cisco TelePresence 3200



製品概要

Cisco TelePresence は、実物大の超高精細度ビデオ（1080p）と空間音声、および特別に設計された環境と対話のための要素を組み合わせたもので、遠隔地にいる参加者との会議で「直接対面」しているような感覚を作り出します。シンプルで使いやすいため、参加者はテクノロジーではなく会議に集中し、自然で効果的なコミュニケーションができるようになります。

分散する拠点を持ち、今日のグローバルな仮想経済における成長を目指す大企業のために、Cisco TelePresence 3200 は Cisco TelePresence テクノロジーの力をより大きな会議室で発揮させます。このシステムは、本社や大規模な地域オフィスに適しています。大人数のチームの大半が物理的に同じ場所にいる場合は、Cisco TelePresence を利用すれば仮想的な会議やコラボレーションが実現します。座席数は 1 室あたり最大 18 となっており、他の Cisco TelePresence 製品と同じく高品質のビデオおよび音声による会議が可能です。Cisco TelePresence 3200 の用途には、大人数のチーム会議、部門横断型会議、研修などがあります。Cisco TelePresence は、企業の広範な会議のニーズを現在だけでなく将来も満たせるスケラビリティを持つようになりました。

用途

Cisco TelePresence 3200 が適しているのは、1 か所に多数の参加者が集まり、離れた場所にいる別のグループも参加して大規模なグループ会議を開催する場合です。1 つのテーブルの両側の参加者が対等に話し合う、事業活動報告会議、進捗報告会議、クライアントまたはパートナーとの四半期会議、役員へのプレゼンテーション、スタッフの出席が必要な会議などに利用できます。

- **大規模なチーム**：Cisco TelePresence 3200 の会議室には 1 室あたり最大 18 名が着席できます。チームメンバーが 1 室に集まり、遠隔地にいる別のチームメンバーとの間で Cisco TelePresence テクノロジーを使用して仮想的に対面することができます。
- **部門横断グループ**：他の製品と比べて多くの参加者が着席できるため、多数の組織からの関係者を集めた Cisco TelePresence セッションを開催することができます。部門横断型会議にはさまざまな人が出席します。プロジェクトにおける重大事項の決定には多数の参加者が必要です。キャパシティの大きさが特徴の Cisco TelePresence 3200 は、このような場合にも柔軟に対応できます。
- **研修**：社内研修や遠隔学習に Cisco TelePresence 3200 を利用すれば、遠隔地にいる専門家やゲスト講師による講義を受けることができます。大会議に対応した Cisco TelePresence 3200 のキャパシティと、Cisco TelePresence の実績あるビデオ/音声テクノロジーによって、実際よりも大きい会議室で大勢の参加者と同席しているような感覚が味わえます。

機能と利点

Cisco TelePresence 3200 は他の Cisco TelePresence 製品とシームレスに統合されており、次のように高品質の体験を実現します。

- 65 インチ高精細プラズマ ディスプレイ 3 面に、実物大の映像が解像度 720p または 1080p で映し出されます。

- 特別に設計された高精細度カメラが鮮明な画像をとらえます。アイ コンタクトも認識でき、ユーザの操作は不要です。
- 全二重方式、CD 品質の音声で、自然に会話することができます。気になる遅延も発生しません。マイクの電子回路は、モバイル デバイスや携帯電話からの干渉を除去するように設計されています。
- 特別に設計された環境は、高品質の照明と音響処理を行うように最適化されています。
- Cisco TelePresence は、Cisco TelePresence エンドポイントの任意の組み合わせによる最大 48 か所のマルチポイント会議をサポートします。
- エンタープライズ グループウェアやシスコ ユニファイド コミュニケーションと統合することで、会議のスケジューリングや開始が容易になります。予定表アプリケーションから出席依頼を送信するだけで、Cisco TelePresence の会議をスケジューリングできます。会議を開始するときも、ボタンを押すだけの簡単さです。ポイントツーポイント会議とマルチポイント会議のどちらの場合も、スケジューリングと開始は容易です。
- ネットワークとの統合によって信頼性、ハイアベイラビリティ、セキュリティ、QoS (Quality of Service) が確保され、いつでも快適な会議が可能です。ビデオと通話シグナリングの両方が暗号化されるため、通信のセキュリティが強化されます。

Cisco TelePresence 3000 の設計が持つ利点に加えて、Cisco TelePresence 3200 は表 1 に示す革新的な機能と利点を備えています。

表 1. Cisco TelePresence 3200 の機能と利点

機能	説明
最大 18 名がアクティブ参加者として着席可能	大人数のチームが効果的かつ快適に Cisco TelePresence を使って仮想会議や仮想コラボレーションを行うことができます。
後列の参加者の表情や声も明瞭に再現される、優れた音質と画質	リアルな会議に欠かせない顔の表情やその他の視覚的手がかりが、明確に伝わります。音声も明瞭で、言葉のニュアンスも伝わるので、相手と同じ場所にいるように感じられます。このシステムでは、Cisco TelePresence 3000 と同等の仮想会議室を体験できます。
全参加者への電力供給とイーサネット接続	参加者が会議中にノート PC を使用できるようになります。会議の重要なデータへのアクセスや、Cisco MeetingPlace [®] または WebEx [®] のセッションへの参加が可能です。会議中も連絡が取れるようになり、生産性が維持されます。
最大 3 台の追加グラフィックス ディスプレイを接続可能*	参加者から見やすいように、会議で使用するデータやグラフィック コンテンツを会議室内の複数の場所で表示することができます。
後部壁際に 10 人以上の増席が可能	見学者や記録係、あるいは定員外の参加者のための席を増やすことができます。会議に積極的に参加しない人も、ミーティングのようすを見ることができます。(このオプションを利用するには、会議室の奥行きが所定の最小値以上であることが必要です)
既存の会議室を使用 (後列の席を台に載せる必要はありません)	Cisco TelePresence 3200 システムは、最小限のレイアウト変更で既存の会議室に設置できます。会議室を「スタジアム」状にする必要はありません。2 列目のテーブル配置方法は 2 とおりあり、1 室あたりの参加者は 14 名または 18 名となります。
Cisco TelePresence 3000 会議室用のアップグレードキットが利用可能	Cisco TelePresence 3000 の会議室を Cisco TelePresence 3200 の会議室に変換するには、部屋の大きさが高さ 2.5 × 幅 9.5 × 奥行 7 m 以上 (12 名用テーブルの場合) または高さ 2.5 × 幅 7.5 × 奥行 7 m (8 名用テーブルの場合) 以上必要です。または、別の大きい部屋に既存の Cisco TelePresence 3000 システムを移動します。

表 2 に、Cisco TelePresence ソリューションの機能と利点を示します。

表 2. Cisco TelePresence の機能と利点

機能	説明
ディレクトリ	Cisco Unified Communications Manager の総合ディレクトリ サービスと統合すれば、数千件のディレクトリ エントリの検索が可能です。
短縮ダイヤル	Cisco TelePresence では、便利な短縮ダイヤルを最大 40 件登録できます。
スケジューリング サービス	電子メールによる予定表機能や Web 対応アプリケーションからのスケジューリング サービスを利用できます。この機能を使用するには、Cisco TelePresence Manager サーバをインストールして、予定表や電子メールのアプリケーションと連携するように設定する必要があります。
ギガビット イーサネット スイッチ	シスコ ギガビット イーサネット スイッチが内蔵されているため、10/100/1000 BASE-T イーサネット ネットワークに RJ-45 インターフェイスを通して直接接続できます。1 つの LAN 接続で、Cisco TelePresence システムと、同じ場所にある Cisco Unified IP Phone 7975G およびイーサネットに接続された PC の両方に接続できます。PC 用と Cisco IP Phone 用にそれぞれ別の VLAN (802.1Q) を指定すれば、音声およびデータトラフィックのセキュリティと信頼性が向上します。
音量調節	電話機のソフト キー メニューにある音量調節ボタンを使用して簡単に調節できます。
Cisco Auto Collaborate	他の部屋にいる人との情報共有を可能にするシスコの革新的技術です。ノート型コンピュータやオプションの内蔵型高精細度ドキュメント カメラなどのデバイスに接続するだけで、同じ情報や物体をすぐに全員が見ることができます。
ドキュメント カメラの制御	オプションのドキュメント カメラをソフトウェアからコントロールする機能が Cisco IP Phone 上の Cisco TelePresence ユーザ インターフェイスに組み込まれています。ソリューションの統合がより緊密になると共に、ユーザ操作がより自然になります。(この機能を利用するには Cisco TelePresence ソフトウェア Version 1.2 以降が必要です)
マルチポイント サポート	Cisco TelePresence Multipoint Switch を使用すれば、Cisco TelePresence システムをマルチポイント会議に参加させることができます。
ミュートと保留	ミュートと保留の機能がサポートされています。
音声ミュート	ミュート機能の状態を参加者に知らせるインジケータが画面上にあります。Cisco TelePresence マイクのミュート機能がオンになると、遠隔会議室のすべてのマイクが同時にミュート状態になります。
ビデオ ミュート	保留/再開ボタンを押すとビデオと音声のミュート機能が切り替わります。内密の話をするとき Cisco TelePresence システムを保留状態にすることができます。
ダイヤリング ボタン	手動でもアドレス帳からでもダイヤルできる便利なボタンです。
PoE (Power over Ethernet) による高精細度カメラと Cisco Unified IP Phone 7975G への電力供給	シスコの高精細度カメラと Cisco Unified IP Phone 7975G は、Cisco TelePresence コーデックに組み込まれた Cisco IEEE 803.3af PoE スイッチから LAN 経由で電力供給を受けます。
呼び出し音	システム動作とユーザ通知用に、標準的な呼び出し音と話中音がサポートされています。
米国の Section 508 機能	Cisco Unified IP Phone 7975G のダイヤル パッドは、U.S. Section 508 のガイドラインに適合しています。触感でホーム キーを識別できるように、ダイヤル パッドの 5 のキーに突起が付いています。アクセシビリティに関するその他の機能については、次の URL から U.S. 508 VPAT (Voluntary Product Accessibility Template) (英語) を入手してください。 http://www.cisco.com/go/accessibility
シグナリング プロトコルのサポート	SIP (Session Initiation Protocol) が Cisco Unified Communications Manager でサポートされます。

機能	説明
音声コーデックのサポート	G.711 および AAC-LD (Advanced Audio Coding with Low Delay) の音声圧縮コーデックが利用可能です。
システム照明	照明装置がソリューションの一部として組み込まれています。顔に影を作らず、自然なビデオ映りになります。強いスタジオ照明やメイクアップは不要です。
システム照明のコントロール	Cisco TelePresence システムの一部である照明装置は、Cisco TelePresence 会議または通常就業時間に連動してオンとオフを切り替えることができます。この機能によって電力消費が削減され、全体的に「よりグリーンな」ソリューションになります。(この機能を利用するには Cisco TelePresence ソフトウェア Version 1.4 以降が必要です)

製品仕様

表 3 ~ 5 に、Cisco TelePresence 3200 の仕様を示します。

表 3. 製品仕様

仕様	説明
製品の互換性	<ul style="list-style-type: none"> • Cisco TelePresence500 と Cisco TelePresence ソフトウェア 1.5 以降 • Cisco TelePresence 1000 と Cisco TelePresence ソフトウェア 1.2 以降 • Cisco TelePresence 3000 と Cisco TelePresence ソフトウェア 1.2 以降 • Cisco Unified Communications Manager 6.0 以降 • Cisco TelePresence Multipoint Switch 1.0 以降 • Cisco TelePresence Manager 1.4 以降
ソフトウェアの互換性	Cisco TelePresence ソフトウェア 1.4 以降
プロトコル	Cisco Discovery Protocol、SIP、IP、DHCP (Dynamic Host Configuration Protocol)、SSH (Secure Shell) プロトコル、802.1p/q、RTP (Real-Time Transport Protocol)
接続	イーサネット (LAN × 1、RJ-45 接続 100/1000m)、内蔵 4 ポート イーサネット スイッチ、高精細度ビデオ コネクタ
プログラミング インターフェイス	Web ベースのユーザ インターフェイス (IP アドレスを静的に割り当てることも Cisco TelePresence 管理者用 Web インターフェイスで設定することも可能)
物理寸法 (高さ×幅×奥行)	後列テーブルが短い構成の場合は部屋の大きさが 2.5 × 7.5 × 7 m 以上であること (部屋全体の定員 14 名)。後列テーブルが 12 名用の場合の寸法は 2.5 × 9.5 × 7 m。 オプションのデータ ディスプレイを取り付けるには、必要な天井高がさらに高くなる可能性があります。データ ディスプレイのオプションと取り付けのオプションについては、シスコ ATP (Authorized Technology Provider) パートナーにお問い合わせください。
重量	約 1,177 kg (2,595 ポンド、貨物重量)
消費電力	8856 W (73.8 A @ 120V ~最大 36.9 A @ 240V)

表 4. ビデオおよび音声の仕様

仕様	説明
帯域幅消費	IP QoS 接続で 15.3 Mbps (1080p、動画処理レベル：最高) または 11.7 Mbps (720p、動画処理レベル：最高)、推奨値は 30 fps プレゼンテーション コーデック動作時で 19.8Mbps (1080p、最高) または 16.2Mbps (720p、最高) Cisco TelePresence 3200 の帯域幅推奨値は Cisco TelePresence 3000 と同一です。
ビデオ規格	H.264
ビデオ フレーム レート	30 フレーム/秒 (H.264 を使用)

仕様	説明
データ/グラフィック フレームレート	グラフィック共有 : 5 フレーム/秒 (標準構成) オプションのグラフィック共有 : 30 フレーム/秒 (専用のプレゼンテーションコーデックを使用)
NTSC (Native National Television Standards Committee)	720p および 1080p
解像度	1920 × 1080 ネイティブ
音声規格	G.711 および AAC-LD (22 kHz)
音声機能	空間的音声用のシスコ ダイナミック エコー キャンセレーション
Cisco TelePresence 高精細度カメラ	<ul style="list-style-type: none"> • CMOS 1/2 インチ センサー • C マウント レンズ • 1080p 30 • 最小照度 300 ルクス • 手動フォーカス

表 5. その他の仕様

仕様	説明
ファームウェア アップグレード	Cisco Unified Communications Manager からダウンロード可能
ビデオ ネットワーク機能	ビデオ伝送のパケット損失をインテリジェントに回復
ネットワーク インターフェイス	<ul style="list-style-type: none"> • LAN/イーサネット (RJ-45)、100/1000 Mbps × 1 • 4 ポート イーサネット スイッチを内蔵、コーデック上に PoE (IEEE 802.3af) ポート 2 個

表 6 に定格温度、表 7 に Cisco TelePresence 3200 の認定情報を示します。

表 6. 定格温度

温度	説明
会議室の動作温度	5 ~ 30°C (41 ~ 86°F)
相対湿度	10 ~ 95% (結露しないこと)

表 7. 規格適合

規格適合認定
<ul style="list-style-type: none"> • CE マーキング • UL/CSA/IEC/EN/AS/NZS/ 60950 • FCC Part 15 Class A • CISPR22/EN55022 Class A • EN55024

発注情報

シスコ製品の購入方法の詳細については、「[購入案内](#)」および表 8 を参照してください。

表 8. 発注情報

製品名	製品番号
Cisco TelePresence 3200	CTS-3200
CTS-3200 の発注オプション	
電源コード	TelePresence システムを設置する国の電源コンセントに差し込める電源コードを選択します。

製品名	製品番号
ノート PC 接続モジュール	TelePresence システムを設置する国に応じて適切な接続モジュールを選択します。このモジュールは、参加者のノート PC などの携帯型電子機器をテーブル脚部の電源コンセントに差し込めるようにするためのものです。
照明器具	TelePresence システムを設置する地域に応じて適切なシステム照明器具を選択します。ヨーロッパおよび日本では特殊な照明器具が必要です。
プロジェクタ	各国の規制要件に適合するプロジェクタ オプションが用意されています。標準、「中国」、「なし」から選択できます。
プレゼンテーション コーデック	CTS-HFR-COLLAB高フレーム レートの Auto Collaboration を利用できるように専用のプレゼンテーション コーデックを追加するための有料オプションです。

サービスおよびサポート

革新的な Cisco TelePresence 環境を実現するには、シスコが認定パートナーと共に提供する統合されたライフサイクル サービスが不可欠です。このサービスは複数の拠点を持つ組織のために設計されており、Cisco TelePresence のすみやかな導入と、品質および信頼性に優れた、相手と直接顔を合わせているような体験の実現を支援します。

初期の準備、計画立案、および設計のサービスを通してお客様のネットワークと組織の準備を整えることで、常に一定の品質レベルで Cisco TelePresence 会議を実施できるようになります。また、IT スタッフの負担を減らして TelePresence の継続的な利用を可能にする運用サービスも提供しています。重要な Day 2 メンテナンス サポート、リモート監視と管理、およびリモート アシスタンス サービスによって、アベイラビリティを高めます。Cisco TelePresence をご利用いただくためのこれらのサービスには、シスコの実績あるライフサイクル サービス アプローチが採用されています。

関連情報

Cisco TelePresence 3200 の詳細については、<http://www.cisco.com/jp/go/telepresence/> をご覧ください。

©2008 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

Cisco、Cisco Systems、および Cisco Systems ロゴは、Cisco Systems, Inc. またはその関連会社の米国およびその他の一定の国における登録商標または商標です。

本書類またはウェブサイトに掲載されているその他の商標はそれぞれの権利者の財産です。

「パートナー」または「partner」という用語の使用は Cisco と他社との間のパートナーシップ関係を意味するものではありません。(0805R)

この資料に記載された仕様は予告なく変更する場合があります。



シスコシステムズ合同会社
 〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー
<http://www.cisco.com/jp>
 お問い合わせ先 (シスコ コンタクト センター)
<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>
 0120-092-255 (通話料無料)
 電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00, 13:00 ~ 17:00

お問い合わせ先